



2 0 2 4 年 2 月 1 3 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

J R 東 海 ユ ニ オ ン 「 第 3 8 回 定 期 中 央 委 員 会 」 ハ ー ト フ ル カ ン パ ニ ー の 実 現 に 向 け た 2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 方 針 を 決 定

J R 東 海 ユ ニ オ ン は 2 月 7 日、ホ テ ル ア ソ シ ア 静 岡 に お い て 第 3 8 回 定 期 中 央 委 員 会 を 開 催 し、2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 方 針 を は じ め と す る 当 面 の 活 動 方 針 を 満 場 一 致 で 決 定 し た。J R 連 合 か ら は、住 吉 一 家 労 働 政 策 局 長 が 参 加 し た。

冒 頭、あ い さ つ し た 尾 内 裕 昭 中 央 執 行 委 員 長 (J R 連 合 副 会 長) は、2 0 2 3 年 の 取 り 組 み を 振 り 返 る と と も に、「安 全 の 確 立」「組 織 の 活 性 化」「ハ ー ト フ ル カ ン パ ニ ー の 実 現 と 2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争」「組 織 課 題 へ の 対 応」な ど、当 面 の 活 動 に 対 す る 考 え を 明 ら か に し た。そ し て、引 き 続 き 組 織 一 丸 と な っ て 活 動 に 取 り 組 み、2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 で 大 き な 成 果 を 収 め る よ う、「O N E チ ー ム と な っ て 突 き 進 む」と 呼 び け け た。



尾 内 中 央 執 行 委 員 長

J R 連 合 の 住 吉 労 働 政 策 局 長 は、コ ロ ナ 禍 の 反 省 と 教 訓 を 踏 ま え た 次 なる パ ン デ ミ ッ ク に 備 え る 取 り 組 み や 2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 を 取 り 巻 く 情 勢 を 報 告 す る と と も に、「今 次 闘 争 は デ フ レ 経 済 か ら 脱 却 で き る か ど う か の 正 念 場。社 会 を 支 え る 一 員 と し て、賃 金 も 物 価 も 安 定 的 に 上 昇 す る 経 済 社 会 へ の 転 換 を 目 指 し、労 使 で マ イ ン ド を 変 革 さ せ な け れ ば な ら ない」と 訴 え、価 格 転 嫁 の 推 進 や 政 策 課 題 の 解 決 な ど、労 使 で 解 決 で き ない 問 題 に 対 し て は J R 連 合 が 積 極 的 に 取 り 組 み、各 単 組 の 労 使 協 議 を 後 押 し し て い く 考 え を 示 し た。



議 事 で は、執 行 部 か ら 「標 準 乗 数 4 と し た 定 期 昇 給 の 年 度 初 完 全 確 保」「純 ベ ア 1 0, 0 0 0 円 を 含 む 月 例 賃 金 総 額 3 % 以 上 の 改 善」「夏 季 手 当 3. 0 箇 月」な ど を 柱 と す る 2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 方 針 を は じ め、当 面 の 活 動 方 針 (案) が 提 起 さ れ た。こ れ に 対 し て、2 0 名 の 中 央 委 員 が 発 言 に 立 ち、「安 全 の 確 立」「組 織 強 化 ・ 拡 大」「人 事 ・ 賃 金 制 度 の 見 直 し」「2 0 2 4 年 問 題 へ の 対 応」な ど 多 く の 意 見 が 出 さ れ た。2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 方 針 に 対 し て は 賛 同 す る 意 見 が 大 勢 を 占 め、春 闘 勝 利 に 向 け た 機 運 が 醸 成 さ れ た。そ の 後、執 行 部 か ら の 中 間 答 弁、今 井 孝 治 書 記 長 に よ る 総 括 答 弁 を 経 て、全 て の 議 案 が 満 場 一 致 で 採 択 さ れ た。

議 事 で は、執 行 部 か ら 「標 準 乗 数 4 と し た 定 期 昇 給 の 年 度 初 完 全 確 保」「純 ベ ア 1 0, 0 0 0 円 を 含 む 月 例 賃 金 総 額 3 % 以 上 の 改 善」「夏 季 手 当 3. 0 箇 月」な ど を 柱 と す る 2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 方 針 を は じ め、当 面 の 活 動 方 針 (案) が 提 起 さ れ た。こ れ に 対 し て、2 0 名 の 中 央 委 員 が 発 言 に 立 ち、「安 全 の 確 立」「組 織 強 化 ・ 拡 大」「人 事 ・ 賃 金 制 度 の 見 直 し」「2 0 2 4 年 問 題 へ の 対 応」な ど 多 く の 意 見 が 出 さ れ た。2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 方 針 に 対 し て は 賛 同 す る 意 見 が 大 勢 を 占 め、春 闘 勝 利 に 向 け た 機 運 が 醸 成 さ れ た。そ の 後、執 行 部 か ら の 中 間 答 弁、今 井 孝 治 書 記 長 に よ る 総 括 答 弁 を 経 て、全 て の 議 案 が 満 場 一 致 で 採 択 さ れ た。

J R 連 合 は、2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 に か か る 情 報 の 提 供 ・ 共 有 等 の 側 面 支 援 を 行 い つ つ、中 長 期 視 点 も 持 ち な が ら、労 働 政 策 に お け る 更 な る 連 携 を 深 め て い く。